

第七十二回 全国少年新春書道展要項

清纯にしてはつらつたる少年少女の試筆をあつめ、書道を通じて小中学生の豊かな情操の育成に努めてまいりました全国少年新春書道展は、関係各方面のご協力により、今や質量ともに我が国の代表的書道展に発展し、来春は第七十二回展を迎えることになりました。

つきましては、今回も左記要領により開催し、一層盛大なものといいたたく、数多くの作品をお寄せくださいますようお願いいたします。

主催 明治神宮書道会

総裁 北白川 慶子
会長 出光 正道

後援

文部科学省
全国都道府県教育委員会協議会
明治神宮
一般財団法人明治神宮崇敬会
朝日新聞社
朝日小学生新聞
朝日小学生新聞

応募規定

裏面もよくお読みください。

参加資格

小中学校在学中の児童、生徒

出品部門

▼「半切部門」「八ツ切・半紙部門」の二部門で募集いたします。
▼各部門一人一点、計二点まで出品できます。(八ツ切・半紙はいずれか一点)

表装・裏打ちはしないこと。

用紙

▼小画仙紙半切(タテ一三六cm、ヨコ三五五cm)

字句

▼八ツ切(小画仙紙半切四分の一、タテ約六八cm、ヨコ約一八cm)・半紙(縦書)

記名等

▼新春にふさわしく、かつ学年にふさわしいもの。
▼「半切部門」：学年・姓と名を本人が書くこと。

出品目録

▼個人、団体にかかわらず、必ず規定の出品目録を添付すること。

出品票

▼小中学生毎に用紙を別にして記入すること。(氏名は楷書で記入すること)

締切日

▼作品の下部中央に、必ず規定の出品票を貼付すること。(氏名は楷書で記入すること)

出品料

不要

提出先

〒一五一―八五五七 東京都渋谷区代々木神園町一― TEL〇三(三三七九)五五一―(代)

明治神宮書道会

〇三(三三七九)九一二三(直)

FAX〇三(三三二〇)六〇五九

出品目録及び出品票は、明治神宮ホームページよりダウンロードすることができます。(A4サイズで印刷すること)

本件に関する情報は明治神宮ホームページにてご覧頂けます。 <https://www.meijingu.or.jp>

審査と表彰

審査員

明治神宮書道会委員

審査発表

半切部門の特選三百点については葉書にてご通知いたします。

また、特選・準特選は十二月下旬頃、朝日新聞社ホームページ上(www.asahi.com/corporate)、朝日小学生新聞、朝日中高生新聞紙上、並びに明治神宮ホームページ上にて発表の予定です。尚、入選の約二千点については明治神宮ホームページ上にて発表の予定です。
応募者全員に参加賞として、記念品をお贈りします。
(作品および出品目録・出品票は返却いたしません)

◇半切部門◇

賞

特選、準特選、入選
①特選は、明治神宮本殿前廻廊に展示し、賞状並びに記念品を贈呈します。

授賞式 令和八年一月五日(月) 午前十一時 明治神宮
展示期間 令和八年一月五日(月) から同三十日(金) まで

②準特選・入選は、会場の都合で展示いたしません。賞状をお贈りします。
③団体賞は、応募多数で成績優秀な団体に、賞状並びに記念品を贈呈します。

◇八ツ切・半紙部門◇

賞

入選

①会場の都合で展示いたしません。賞状をお贈りします。
②団体賞は、応募多数で成績優秀な団体に、賞状並びに記念品を贈呈します。

(二) 「半切部門」「八ツ切・半紙部門」の二部門で募集をいたします。
各部門一人一点、計二点まで出品できます。但し、八ツ切・半紙はいずれか一点。
表装・裏打ちはしないこと。

(三) 作品の字句・書体等について

イ 「新春にふさわしい字句」が望ましい。

他に「ともだち」「なかよし」「思いやり」「助け合い」「世界平和」「博愛精神」「兄弟仲良く」「社会に奉仕」「人格の向上」「勉学に励む」「知能啓発」「伝統を守る」などでもよい。
ロ 「学年にふさわしい書体」を用いること。篆書・隸書・草書の書体は不可とする。
ハ 誤字に注意し、変体仮名・俗字・略字(例「ㇿ・ㇾ」)は使用しないこと。

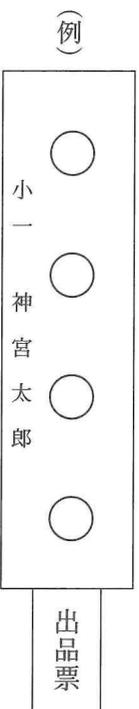
(四) 作品の学年・氏名について

※作品への学校名の記入は不要です。

イ 作品に学年・姓と名を本人が書くこと。

ロ 学年は小一・小二もしくは一年・二年のように書くこと。

ハ 作品には塾名を書かないこと。



(四) 出品票について

イ 学校所在地の番地は不要

(例) 渋谷区代々木神園町一丁目一番三号

の場合

渋谷区代々木神園町

ロ 学校名は正式名称で記入すること。

ハ 氏名や学年を間違えないよう記入すること。

ニ 『半切』『八ツ切・半紙』専用出品票を、作品下部中央に必ず貼付すること。

ホ (学校・塾・個人) いずれかを○印で囲むこと。

(五) 墨について

イ 他の作品に付着したり、作品裏打ちの際に墨が散つたりするような練墨・濃墨、また洗濯すると落ちると
うたわれている墨汁は使用しないこと。

ロ 墨色も十分考えること。

(六) その他

イ 作品に、学校名や塾名のゴム印、落款印を押さないこと。

ロ 出品目録・出品票の氏名は、賞状作成のため楷書で正しく記入すること。

ハ 出品目録は、低学年から順に記入し、小学生・中学生に分け別々の用紙で作成すること。

ニ 出品目録の例を参考に、出品が二部門の場合も一箇所ですべて記入すること。

ホ 規定に外れたものは応募作品として扱いますが、審査の対象とはなりません。